



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 399 号

(創刊 1988.12.14)

2022.12.04.

圏央道(横環南線、横浜湘南道路)の整備に関する市長要望書について

9月5日の市議会本会議において「市長の脱硝装置設置等について要望した」との回答があり、その要望書を情報開示請求により入手した。

要望書は8月25日にNEXCO東関東支社長に対して神奈川県知事と横浜市長連名で行っていた。

これは8月4日の神奈川県圏央道連絡調整会議(国交省・NEXCO東・県・市)において、供用時期が2025年から遅れること(供用時期は明示できないと云う)が示された事業者と行政役人の事務方における協議内容を、首長を入れた形で焼き直したものである。

県・市として以下の整備促進を要望(要旨)したものであった。

- ①一日も早い供用化、コスト縮減等を図ること(県・市)
- ②地元や市会から強い要望がある脱硝装置設置について検討し、早期に判断すること(市)
- ③新東名の早期全線開通、厚木秦野道路の全線事業化(県)

これで今回山中横浜市長は脱硝装置設置を求めたと言えるのか？

脱硝装置設置については、「設置について検討し、早期の設置の判断をすること」とされているこの文面は、これまでの設置を求めてきたことに対して、「設置することを早く決めろ」と言っているだけで、設置の是非を事業者に委ねてしまったことでは決してないと信ずるものである。

脱硝装置設置の求めは、2019年2月の市議会で「事業者に設置を働き掛ける事」の

請願が全会一致で採択され、それを受けて3月28日には林市長が**要請書を出している(要望ではない)**。その要請の根拠として、請願に基づく地元・議会の意向に加えて、

「2004年(平成6年)11月の環境アセス審査書において、脱硝装置が実用化された段階で早期導入を図ること」とされていることを示したうえで、「脱硝装置の設置等環境に配慮した取り組みについて強く要請します」としているのである。

全会一致採択の請願は設置の検討ではなく設置を要請しているのである。山中市長には改めて強く設置を要請するよう求めたい。

既に開通している環状北線、北西線には脱硝装置は設置されているのであり、横浜市として南線の脱硝装置は市民にとって不可欠なものとして、市の環境総括元である環境創造局及び環状道路事業調整を行う道路局の、請願に基づいた対応を求めるものである。(事務局長 長谷川誠二)

桂台西での道路説明会

シールドマシンの騒音振動は回転立坑に到達したため一時停止していますが、換気所の建設工事の騒音は続いています。

10月23日に自治会館でNEXCO東と横浜市による説明会がありました。騒音振動に対する苦情質問が数多く出され予定の1時間を大きくオーバーしました。工事現場での朝礼のハンドマイクがうるさい、夜間照明が明るすぎる、等の苦情は翌日から改善されました。

桂台小学校横の道路から上郷公田線への入り口は高速を利用する車で混雑が心配されていますが、この入口には信号を設けず右折禁止にする案が横浜市で検討中とのことです。大変良い案なので是非とも実現して欲しい旨伝えました。(桂台 鈴木)

桂台トンネル下り線ボーリング調査

11月に下り線トンネル直上8か所でボーリング調査が行われました。JVの現場監督に確認したところ、トンネル掘削残土中のヒ素等の有害物質の有無を調べる土質サンプル取得が目的とのことでした。

NEXCO 東工務課長に問い合わせたところ、残土受け入れ先から土質成分を要求されるので調査しているとの回答でした。



JV 監督と NEXCO 東工務課長どちらの回答が正しいのか私達には判断できません。上り線から僅か離隔 1m の下り線で何故ボーリング調査する必要があったのか、サンプルの分析結果と併せて NEXCO 東は説明する必要があります。(ネオポリス・大橋)

外環陥没2周年

2年前の10月に閑静な調布の住宅地道路に突然大きな穴が開きました。真下でシールドマシンによる外環道建設の掘削工事中だったのです。その後2か所で地下に空洞が見つかった大事件から2年経過し、やっと国交大臣がこの10月の国会で陳謝しました。当地でその後の工事停止を求める集会が開催され、同様の工事を経験している横環南として他人事ではなく連協も参加しました。

事件後の地盤を詳しく調査された芝浦工業大学の地盤工学専門の稲積教授のお話があり、100名を越える会場の方々が NEXCO の工事の杜撰さを改めて知ることとなったのです。住宅地の地盤補修ではなくトンネル工事のための地盤補修であるとし

て住民無視も甚だしいと怒りの声を上げました。トンネルに沿った200mにわたり直上の約30戸の家屋を解体し3年間の強制疎開を強いているのです。地下に大きなダムを造るようなもので、住宅地を守る地盤の表層部の補強を無視しており問題であるとの稲積教授の指摘でした。

横環南でも是非外環の方々と情報を共有して今後も見守って参りましょう。

(会長 比留間)

空しい「説明責任・丁寧な説明」

行政では、「説明責任」とか「丁寧な説明」の言葉が頻回に飛び交っている。

連協は今年3月22日に、シールドマシン故障原因となったナット締め付けトルクの問題で、国交省、関東地方整備局横浜事務所、NEXCO 東日本、及び当該部品製作会社の JIM テクノロジーへ質問状を発送したが、今現在何の回答も、回答しない理由も示されていない。

連協無視の態度であり、これは南線工事継続に関する監視委員会付帯意見、「地元理解を得られるように努める」に明らかに違反する。

行政も事業者も「説明責任・丁寧な説明」に関してこの程度の認識しか持ち合わせていないのだと、改めて失望し、抗議の意を表す。隠蔽の裏には常に、公に出来ない理由がある。(事務局)

対外活動報告

- 11/09 立民集会 (あーすぷらざ 会長)
- 11/11 喘息パレード (日産本社 会長)
- 11/28 情報開示請求により「横浜市長の NEXCO への脱硝装置設置等の整備に関する要望書 (8/25 付け)」受領 (請求日 10/28)
- 12/02 石木ダム不服審査請求 (国交省 会長)